

海に流れ込む河川から着手し、海岸漂着物の効果的な発生抑制を図る

1 自治体・所属：遼寧省生態環境庁工業環境保護処

2 発表者：張 万民 調査研究員

3 要 旨：

(1) 海岸漂着物がもたらす影響と被害

海岸漂着物が海洋生態系に及ぼす影響は非常に大きい。水質の汚濁や悪化をもたらすだけでなく、海洋生態系の破壊、海の生き物への影響、船の運航への影響など、自然環境や人の活動に被害を及ぼす恐れがある。

(2) 海岸漂着物の起源・発生原因と種類

調査によると、漂着物は主に、発泡スチロール類の破片、ビニール袋、ペットボトル、プラスチックの食器などのプラスチック類、海藻と漁具、材木と木片など、さまざまな種類がある。漂着ごみの多くは、内陸部で発生し、河川を通じて海岸に流れ着き、また、海に流入し、漂流している。

(3) 海岸漂着物を減らす方法・措置

①健全な河川の漂着ごみの監視・管理体制を構築する（典型的な事例）。

河川の漂着ごみの健全な監視・管理体制を構築することにより、海岸漂着物の効果的な発生抑制の鍵をつかんだと言える。河長制（リバーチーフ制度、河川最高責任者制度）、共同規制制度などを通じて、誓約書を交わし、個人の責任を追及する。また、河川ごとの対策の作成、河川の巡回・監視の強化、河川環境への定期審査などにより、海岸漂着物の効果的な発生抑制の第一防御ラインとする。

②持続的に農村環境への総合的な整備を推進する

農村部の生活ごみに対して、清掃・収集・運搬システムを完全なものとし、悪習を改め、ごみの発生量を効果的に減らし、農業廃棄物と一般廃棄物の河川への流入をしっかりと抑える。

③河川への開発・利用を厳格に管理・コントロールする

特に干潟の水産養殖業と河道施工を管理・コントロールする。河川と干潟における養殖への監視・管理を強化し、養殖業のこれまでの方法を見直し、生産時に発生したブイ、漁具・漁網などの廃棄物を随時整理するよう指導する。また河口部に河川からのごみを食い止める設備を建設する。

④海に流れ込む河川の漂着物への監視・取り締まり体制を強化する

河川のごみの監視・取り締まり体制を強化し、河川管理と関連部門の職責の履行を確保する。河川へのポイ捨て、特に不法投棄などの違法行為を厳格に処罰する。監視・取り締まりを科学的に進歩させ、海岸漂着物の種類、数量、タイプ、発生時間とパターンなどの正確な監測データーを把握し、科学的な予測と適確な対策につながるよう、技術的な支援を提供する。

⑤流域の環境保護に関する財政支援とメディア広報を強化する

漂着物の処理施設に対して、財政面と税収面において支援する。河川漂着物の専門除去隊を作り、除去用設備・道具を配備する。また、生態環境の保全と漂着物に関する理念や知識について普及啓発し、各界各層の意識を高め、環境、河川と海洋への関心の高揚に努力する。

本日の発表は「海に流れ込む河川から着手し、海岸漂着物の効果的な発生抑制を図る」と題し、効果的な発生抑制方法について検討するものである。